

韓国語の統語的アプローチ —作文法において—

権 英 秀

This study focuses on the word order between “Japanese and Korean” and considers how to make Korean sentences. The results are as follows: “MASU” in Japanese makes a special word order which there is not in Korean. : The Negation and The Preterit Tense are located in the next of “MASU”. But also Korean doesn't have these arrangements. : Two Postpositions can be compounded also in Korean. But there is the special case when it could be expected which of two postpositions can be located in front of Verb. In this case, Koreans can leave out the expected one and must write just another one.: “SEYO” in Korean makes the word arrangement which Japanese doesn't have.

1. はじめに

通常人間にとって、母国語は第2外国語と文字が異なるだけであって、母国語と第2外国語は同じ言語だと認識されやすい。この母国語と第2外国語の関係から、第2外国語の勉強をする際は、母国語に対応させて行っているために、第2外国語を表現する時は母国語に例え（なぞられ・対応し）ながら作文している。

特に日本人にとって韓国語というものは、日本語の「単語、文法、語順」などと似ていることから、他の外国語より一層韓国語を日本語と（文字だけ違う）同じ言語だと考えられやすい。たとえば、「です・ます」・「られる」・「ない」・「た」の4つの文法だけで、「行きます」・「行かれる」・「行かない」・「行った」はもちろん、「行かれます」・「行かない」・「行かれた」・「行かないです」・「行きません」・「行かなかった」・「行かなかったです」・「行きませんでした」・「行かれないです」・「行かれません」・「行かれなかった」・「行かれなかったです」・「行かれませんでした」まで表現ができる。しかし、学校では韓国語の文法として「られます」・「られない」・「ないです」・「なかった」・「られなかったです」¹等をセットとして教育するために、学生としては暗記する文法の数は増え、応用力が付かない恐れがある。韓国語の教育においても韓国語の作文指導は語順が似ていることから、あまり行われておらず、作文指導の研究も盛んではないのが現状である。

本研究では、日本人大学生²を対象に、日本語と韓国語の語順が異なる文法を取り上げ、韓国語の統語的アプローチをしながら、作文法を考察する。

2. 考察

日本語では「ます」という「丁寧」の意味を表す文法（以下：「ます」文法という）があるために、「ます」文法の持つ特殊な語順と、「ます」文法と組み合わせる「否定」文法や「過去」文法にも特殊な語順がある。したがって、日本語を韓国語に直す場合は、韓国語にない日本語の語順を理解し、両言語の語順を一致させる工夫する必要がある。

2.1 「丁寧」文法

日本語で丁寧に述べる時は「です・ます」が使われる。「です」と「ます」の語順は異なるために、韓国語に直す時は日本語と韓国語の「語順の一致」³を考えなければならない。

例1)

「尊敬」 「否定」 「丁寧」

①行かれないです = 行く + られる + ない + です

「尊敬」 「丁寧」 「否定」

②行かれません = 行く + られる + ます + ん(=ない)

上記の両例は「行く」動詞に「尊敬」と「否定」と「丁寧」の意味を表す文法を組み合わせさせた表現である。①と②の意味は一見異なるように見えても、文法の種類（「尊敬」・「否定」・「丁寧」）と数（3つの文法）は同じであるために、同じ意図を伝える表現である⁴。しかし、語順においては「丁寧」の意味を表す文法（以下：「丁寧」文法という）が異なっている。

日本語と韓国語は語順が似ていることから、例1)の①と②の日本語を韓国語に直しても、日本語と韓国語の語順が一致しない場合もあるために、以下のように例2)の①と②の日本語は正しい表現になっても、それぞれの日本語に対応する韓国語において②の場合は正しい表現にならない。したがって、日本語にない韓国語の語順（反対に韓国語にない日本語の語順も）を韓国語授業では教育しなければならない。

例2)

「尊敬」 「否定」 「丁寧」

①日本語：行く + られる + ない + です = 行かれないです
韓国語：가다 + 시다 + 지 않다 + 습니다 = 가시지 않습니다 (○)

「尊敬」 「丁寧」 「否定」

②日本語：行く + られる + ます + ん(=ない) = 行かれません
韓国語：가다 + 시다 + 브니다 + 지 않다 = 가십니지 않다 (×)

日本語の「丁寧」文法は語順が一番最後に来る場合（「です」）と来ない場合（「ます」）がある。

- ・[行かない] + です：すべての意味（文法）を組み合わせた後に「丁寧」文法を付ける。
- ・[行かれます] + ん (=ない)：肯定の意味（文法）を組み合わせてから「丁寧」文法を付けた後に、「否定」文法を付ける。

韓国語の場合は「丁寧」文法が一番最後の語順に来るパターンしかなく、「否定」文法が「丁寧」文法の後ろに来る語順はない。例2)の②「行かれません⇒가십니지 않다」が韓国語で正しくない理由は、例2)の①のように韓国語では最後の語順に「丁寧」文法が来ることによって丁寧表現になるが、例2)の②の韓国語では最後の語順が「否定」文法(지 않다)で終わるため結果的にタメ語になるからである。即ち、例2)の②の「ます」の語順(位置)のように、「丁寧」文法が最後の語順(位置)にない限り、その表現は丁寧表現にならないのである。また、このような日韓両言語の語順の違いは、スコップによって「丁寧」文法の語順が異なるとも言えよう。

したがって、「丁寧」文法のある日本語を韓国語に直す時は、他の文法の語順は固定して「丁寧」文法だけを最後に移す工夫が必要である(=以下「語順の移動」という)。つまり、すべての意味(文法)を組み合わせてから最後に「丁寧」文法を付けることによって、「丁寧」文法の前にあるスコップ全体を丁寧にすることを大学生は理解しなければならない。

表1) ①語順の移動

日：行く + られる + <u>ます</u> + <u>ん(=ない)</u>	= 行か <u>れ</u> ませ <u>ん</u>
韓：가다 + 시다 + <u>브니다</u> + <u>지 않다</u>	= 가십 <u>니</u> 지 않 <u>다</u> (×)
	「尊敬」 「丁寧」 「否定」
	↓ ↓ ↓
日：行く + られる + + <u>ない</u> + <u>です</u>	= 行か <u>れ</u> ない <u>です</u>
韓：가다 + 시다 + + <u>지 않다</u> + <u>습니다</u>	= 가십 <u>지</u> 않 <u>습</u> 니다 (○)
	「尊敬」 「否定」 「丁寧」

②語順の移動

日：行く + られる + ことができる + <u>ます</u> + <u>た</u>	= 行か <u>れ</u> ることができ <u>まし</u> た
韓：가다 + 시다 + <u>ㄹ 수가 있다</u> + <u>습니다</u> + <u>었다</u>	= 가십 <u>수</u> 가 있 <u>습</u> 니다 <u>었</u> 다 (×)
	「尊敬」 「可能」 「丁寧」 「過去」
	↓ ↓ ↓ ↓
日：行く + られる + ことができる + + <u>た</u> + <u>(の)です</u>	= 行か <u>れ</u> ることができ <u>た</u> (<u>の</u>) <u>です</u>
韓：가다 + 시다 + <u>ㄹ 수가 있다</u> + + <u>었다</u> + <u>습니다</u>	= 가십 <u>수</u> 가 있 <u>었</u> 습 <u>니</u> 다 (○)
	「尊敬」 「可能」 「過去」 「丁寧」

2.2 否定形

日本語の否定形には「ない」と「ん(=ない)」2種類がある。各形態は「丁寧」文法と同様に異なる語順を持っている。特に「ん」は「丁寧」文法(「ます」)にしか付かないために「ます」と同じ語順になるのである。

例3)

①行かないです = 行く + ない + です

「否定」 「丁寧」

②行きません = 行く + ます + ん(=ない)

「丁寧」 「否定」

上記①で「ない」のスコープは「行く」である。反面②の「ん」の語順は必ず「ます」の後ろに来るために②で「ん」のスコープは「行きます」になる。即ち、丁寧表現を否定にする時に使う「否定」文法が「ん」であることが分かる。

また、2.1で見たように日本語の「ん」と「丁寧」文法(「ます」)は必ず組み合わせなければ表現になることができないために(～ません)、韓国語の語順では「丁寧」文法の「語順の移動」が必要になる。

例4)

①日本語：行く + ます + ん(=ない) = 行きません
 韓国語：가다 + 브니다 + 지 않다 = 갑니지 않다 (×)

「丁寧」 「否定」

↓

「否定」 「丁寧」

②日本語：行く + + ない + です = 行かないです
 韓国語：가다 + + 지 않다 + 습니다 = 가지 않습니다 (○)

日本語では「丁寧」文法が2種類あって、韓国語に表す場合は「ます」文法の「語順の移動」をして、日本語の「ですと同じ語順(=「丁寧」文法が最後に来る)にしなければならない。したがって、「否定」表現(「ん」)は、「丁寧」文法(「ます」)と組み合わせる場合は日本語の「です」文法の語順に従って韓国語を作らなければならない。

また、韓国語には日本語にない「否定」文法の語順(表2の②と表3の②)があるために、以下のように2種類の「否定」文法の語順を習得しなければならない。

表2) 語順の移動

日:	行く + <u>ます</u> + <u>ん(=ない)</u>	= <u>行きません</u>
韓:	가다 + <u>ㅂ니다</u> + <u>지않다</u>	= <u>갈<u>니</u>지<u>않</u>다 (×)</u>
	「丁寧」 「否定」	
日:	行く + + <u>ない</u> + <u>です</u>	= <u>行かない<u>です</u></u>
①韓:	가다 + + <u>지않다</u> + <u>습니다</u>	= <u>가<u>지</u> <u>않</u>습니다 (○)</u>
	「否定」 「丁寧」	
②韓:	<u>안</u> + 가다 + <u>ㅂ니다</u>	= <u>안 갈<u>니</u>다 (○)</u>
英:	<u>do not</u> + go	= <u>do not go</u>

表2)の②のように、韓国語のもう一種類の「否定」文法(「안」)は動詞・形容詞(の語幹)の前に来る語順である。これは英語の「NOT」と似ている。「안」文法を使う場合は、「否定」文法以外の諸文法は固定して、「否定」文法だけ動詞・形容詞の前に移動すればよい(=語順の移動)。

表3) 語順の移動

日:	行く + <u>られる</u> + <u>ない</u> + <u>です</u>	= <u>行か<u>れ</u>ない<u>です</u></u>
①韓:	가다 + <u>시다</u> + <u>지않다</u> + <u>습니다</u>	= <u>가<u>시</u>지 <u>않</u>습니다 (○)</u>
	「尊敬」 「否定」 「丁寧」	
②韓:	<u>안</u> + 가다 + <u>시다</u> + + <u>ㅂ니다</u>	= <u>안 가<u>시</u>ㅂ니다 (○)</u>
	「否定」 「尊敬」 「丁寧」	

「否定」文法である「안」は日本語の「ん」文法と語順は異なるが、「肯定の丁寧表現」のスコープを否定する点が一致している。

日本語:	[行く+ます] + <u>ん(=ない)</u>	= <u>行き<u>ま</u>せん</u>
韓国語:	<u>안</u> + [가다+ㅂ니다]	= <u>안 갈<u>니</u>다</u>
	(ない) (行きます)	

また、韓国語には「안」文法と同じ語順の「못(ことができない)」がある。この「可能の否定」文法も動詞・形容詞(の語幹)の前に来るので、日本語と同じ語順である「可能の否定」文法(ㄹ / 을 수가 없다: ことができない)と一緒に習得しなければならない。

表4) 語順の移動

日：	行く +	<u>られる</u> +	<u>ことができる</u> +	<u>ない</u> +	<u>です</u>	
		↑	↑	↑	↑	
		「 <u>尊敬</u> 」	「 <u>可能</u> 」	「 <u>否定</u> 」	「 <u>丁寧</u> 」	
		↓	↓	↓	↓	
		「 <u>尊敬</u> 」	「 <u>可能</u> 」	「 <u>否定</u> 」	「 <u>丁寧</u> 」	
		↓	↓	↓	↓	
		「 <u>可能+否定</u> 」	「 <u>尊敬</u> 」		「 <u>丁寧</u> 」	
韓：	가다 +	시다 +	르 수가 있다 +	없다 ⁶ +	습니다	
		↓	↓	↓	↓	
		「 <u>尊敬</u> 」	「 <u>可能</u> 」	「 <u>否定</u> 」	「 <u>丁寧</u> 」	
		↓	↓	↓	↓	
		「 <u>可能+否定</u> 」	「 <u>尊敬</u> 」		「 <u>丁寧</u> 」	
韓：	못	+ 가다 +	시다 +		+ 습니다	
						= 못 가 <u>십니다</u> (○)

2.3 過去形

日本語の「過去」文法は「～た」だけがある。しかし、「丁寧」文法である「です」・「ます」との組み合わせによって2種類の語順を持つことになる。したがって、(2.1と2.2で見たように)「ます」の後ろに付く「否定」文法(「ん」と同様、「過去」文法も韓国語に直す時に「語順の移動」が必要になる。

例5)

①行った(の)です = 行く + た + (の)です

②行きました = 行く + ます + た

上記①で「た」のスコープは「行く」である。しかし、「ます」という「丁寧」文法の後ろに「否定」文法や「過去」文法が来るために、②で「た」のスコープは「行きます」となり、丁寧表現を過去表現にする時に使う語順であることが分かる。

また、2.1と2.2で見たように、日本語の「た」と丁寧文法(「ます」)が組み合わせになった場合、韓国語の語順は「丁寧」文法の「語順の移動」が必要であることに注意しなければならない。

表5) 語順の移動

日：行く + <u>ます</u> + <u>た</u>	= 行 <u>き</u> ま <u>し</u> た
韓：가다 + <u>브니다</u> + <u>었다</u>	= <u>갔</u> 다 (×)
	「丁寧」 「過去」
	↓
	「過去」 「丁寧」
日：行く + + <u>た</u> + <u>です</u>	= 行 <u>っ</u> た <u>(の)</u> です
韓：가다 + + <u>았다</u> + <u>습니다</u>	= <u>갔</u> 습니다 (○)

日本語では「丁寧」文法が2種類あって、韓国語にする場合は「語順の移動」をして日本語の「です」と同じ語順(=「丁寧」文法が最後に来る)にしなければならない。そのために「過去」文法(「た」)も「丁寧」文法(「ます」と組み合わせる場合は日本語の「です」文法の語順に従って韓国語を作らなければならない。

また、日本語において「ます」文法の後ろに、「否定」文法と「過去」文法を組み合わせた場合(「～ませんでした」)の語順は必ず「否定」文法が「過去」文法の前に来る。この点は韓国語においても同様であるために、日本語の「否定」文法と「過去」文法の語順に従って文法を羅列すればよい。

表6) ①語順の移動

日： 行く + <u>られる</u> + <u>ます</u> + <u>ん(=ない)</u> + <u>でした</u>	= 行か <u>れ</u> ま <u>せ</u> ん <u>で</u> した
韓： 가다 + <u>시다</u> + <u>브니다</u> + <u>지 않다</u> + <u>었다</u>	= 가 <u>십</u> 니 <u>지</u> 아 <u> 없</u> 다 (×)
	「尊敬」 「丁寧」 「否定」 「過去」
	↓
	「尊敬」 「否定」 「過去」 「丁寧」
日： 行く + <u>られる</u> + + <u>ない</u> + <u>かった</u> + <u>(の)です</u>	= 行か <u>れ</u> な <u>か</u> っ <u>た</u> です
韓： 가다 + <u>시다</u> + + <u>지 않다</u> + <u>았다</u> + <u>습니다</u>	= 가 <u>시</u> 지 아 <u> 없</u> 습니다 (○)
	「否定」 「尊敬」 「過去」 「丁寧」
韓： 안+가다+ <u>시다</u> + + + <u>었다</u> + <u>습니다</u>	= 안 가 <u>셨</u> 습니다 (○)

表7) 「尊敬」文法のスコープ

日本語：行かたくないです	「動詞」	「尊敬」	「希望」	「否定」	「丁寧」
	= 行く +	られる +	たい +	ない +	です
	：スコープは「行く」				
<hr/>					
① 韓国語：가시고 싶지 않았습니다	「動詞」	「尊敬」	「希望」	「否定」	「丁寧」
	= 가다 +	시다 +	고 싶다 +	지 않다 +	습니다
	(行く	られる	たい	ない	です)
	：スコープは「가다」				
<hr/>					
② 韓国語：가고 싶지 않으세요	「動詞」	「希望」	「否定」	「丁寧+過去」	
	= 가다 +	고 싶다 +	지 않다 +	으세요	
	(行く	たい	ない	られます)	
	：スコープは「가고 싶지 않다」				

韓国語は「尊敬」文法である「시다/ 으시다」と「丁寧」文法である「아요/ 어요」を持って、表7)の日本語のように「行かたくないです」を表現することもできるが、②韓国語のように「세요/ 으세요」という「尊敬」の意味と「丁寧」の意味を組み合わせた文法によっても表現することができる。

そして、「세요/ 으세요」文法を使う場合は「尊敬」と「丁寧」の文法が語順の最後に来るために、両文法以外の諸文法の語順は固定しなければならない(=語順の移動)。

表8) 「尊敬+丁寧」文法の組み合わせ

見られたくないです					
(=見られたくありません、ご覧になりたくないです、ご覧になりたくありません)					
「動詞」	「尊敬」	「希望」	「否定」	「丁寧」	
= 見る +	られる +	たい +	ない +	です	
보다 +	시다	+ 고 싶다	+ 지 않다	+	아요
					= ①보시고 싶지 않아요 (○)
보다 +		+ 고 싶다	+ 지 않다	+	으세요
					= ②보고 싶지 않으세요 (○)

韓国語の「尊敬」文法(시다/ 으시다)と「丁寧」文法(아요/ 어요)をそれぞれ組み合わせた表8)の①では、「尊敬」文法のあるスコープ(보시고 싶지 않다)を「丁寧」文法で丁寧表現にするものの、②では「尊敬+丁寧」文法のスコープの範囲が異なる。

ただし、「尊敬+丁寧」文法は「過去」文法をスコープにすることができないことを注意しなければならない。即ち「尊敬+丁寧」文法は現在と未来までしか時制の組み合わせができない。なぜなら、「丁寧」文法と「過去」文法は語順の中で、前後の羅列として、必ず組み合わせなければならないが、「尊敬+丁寧」文法はすでに「丁寧」文法に「尊敬」

文法が組み合わせになっているために、「過去」文法と「尊敬+丁寧」文法は組み合わせることができず、過去の時制を表すこともできないからである。

表9) 「尊敬」文法+「丁寧」文法の過去表現

「動詞」	「尊敬」	「希望」	「否定」	「過去」	「丁寧」
見る	+ られる	+ <u>たい</u>	+ <u>ない</u>	+ <u>た</u>	+ <u>です</u>
· 보다	+ <u>시다</u>	+ <u>고 싶다</u>	+ <u>지 않다</u>	+ <u>았다</u>	+ <u>아요</u>
					= ① <u>보시고 싶지 않았어요</u> (○)
· 보다	+ <u>고 싶다</u>	+ <u>지 않다</u>	+ <u>았다</u>	+ <u>으세요</u>	
					= ② <u>보고 싶지 않았으세요</u> (×)
					<u>見たくな</u> <u>かった</u> <u>られます</u> (×)

2.5 助詞

日本語と韓国語は、助詞と助詞を組み合わせることができる。たとえば「で」+「は」=「では」、「に」+「は」=「には」、「に」+「も」=「にも」、「と」+「は」=「とは」などがある。しかし、日本語の「をも」、「までに」の助詞の組み合わせは韓国語で対応できない。

例7)

물에 빠진 사람은 지푸라기를도 잡는다⁷
 溺れる者は藁をも掴む。

例8)

두 마리 토끼를 쫓는 사람은 한 마리 토끼를도 얻을 수 없다⁸
 二兎を追う者は一兎をも得ず。

例9)

내일 10시까지에 오세요.
 明日10時までに来てください。

上記の例は、日本語と韓国語の助詞を対応させて、大学生が日本語の各助詞を韓国語に直した作文である。しかし、韓国語の助詞の組み合わせにおいて、「을도 / 를도 (=をも)」と「까지에 (=までに)」は使うことができない。日本語と韓国語の助詞は意味を表す上で、自由に助詞同士で組み合わせることができる。しかし「을도 / 를도 (=をも)」と「까지에 (=までに)」などは韓国語の場合、推測できる助詞「을 / 를」・「에」を省略する傾向がある。

溺れる者は + 藁 + を + 掴む (通常の助詞) = 溺れる者は藁をも掴む
 藁 + も + 掴む

日本語と韓国語において他動詞の前には助詞「を」が来る。上記も「藁」という名詞に他動詞の「掴む」を繋げるために助詞「を」を使っている。また、「強調の意味を表す場合」や「不特定の物の中で一つを挙げる場合」に使う助詞「も」を使うことによって、助詞「を」と助詞「も」の意味を組み合わせている。しかし、韓国語では他動詞の前に来る助詞「を」は推測でき、助詞「も」だけを使っても意味が通じるために、以下のように助詞「も」に対応する「라도 / 이라도」で表現しなければならない。

・溺れる者は藁をも掴む → 물에 빠진 사람은 지푸라기라도 잡는다
 (溺れる者は藁でも掴む)

また、例8)も例7)と同様に他動詞「得る・得ない」は助詞「を」と組み合わせている。そして、一匹すら掴むことができないと強調するために助詞「も」を付け加えている。そのために、韓国語では助詞「も」だけで表現しなければならない。

・二兎を追う者は一兎をも得ず
 → 두 마리 토끼를 쫓는 사람은 한 마리 토끼도 얻을 수 없다.

二兎を追う者は + 一兎 + を + 得ない (通常の助詞) = 二兎を追う者は一兎をも得ず
 一兎 + も + 得ない

最後に、韓国語は時間を表す助詞「에 (=に)」と、限定・制限する際に使う助詞「까지 (=まで)」が組み合わせになる場合は助詞「까지 (=まで)」だけで韓国語を表現しなければならない。

・明日10時までに来てください。 → 내일 10시까지에 오세요.

明日 + 10時 + まで + 来る + てください = 明日10時までに来てください
 10時 + に + 来る (通常の助詞)

「明日10時に来る」という表現に24時間の中で10時まで来ることを依頼・命令する表現である。そのために時間を表す時に使う助詞「に」は省略したのである。

3. まとめ

本研究は、日韓両言語の語順が似ていることから、韓国語教育の中であまり行われず、テキストでも練習できない作文法（文法の語順の配列）について統語的アプローチをして、日本人の大学生から見られる韓国語の誤用を考察してきた。

研究結果、以下のような日韓両言語の異同が分かった。

- ①日本語に発達した「丁寧」文法である「ます」は韓国語にない特殊な語順を持つ。
- ②また「ます」の後ろにしか来られない「否定」文法（「ん」と「過去」文法（「た」）も韓国語にない語順になる。
- ③韓国語の「尊敬+丁寧」文法は日本語にない語順を持つ。
- ④韓国語の助詞の組み合わせでいくつかの組み合わせ（「をも」、「までに」等）は通常動詞の前に来る助詞が推測できる場合は省略することができる。

以上の研究結果は、日本語と韓国語の語順が非常に似ている点と、両言語の語順の異同点（特に異なる点）についてあまり教育を受けてない点によって、日本人大学生が韓国語の作文をする際に誤用していることが分かった。したがって、これからの韓国語の授業では、両言語が似ている部分、即ち両言語がそれぞれ対応する文法だけを韓国語の授業で教育するのではなく、日本語と韓国語の語順における異同点を比較し、教えながら韓国語の作文法を取り入れなければならないと考える。

注

- ¹ 著者が知っている限り、権（2015）のテキスト以外に他のテキストには「られる」や「られない」などのタメ語の説明や練習はない。
- ² 2015年から2016年まで新潟大学の1年生から3年生までの大学生が書いた作文、練習問題を参考にする。
- ³ 「語順の一致」とは、日本語と韓国語の文法を同じ並べ方にするを言い、特に日本語を韓国語の語順（並べ方）にあわせるために一部の文法の位置を換えるを言う。本研究では「語順の移動」と同様な意味である。
- ⁴ 同じ意図（意味）であっても使う場面が異なる場合もある。ここではニュアンスの違いは除外する。
- ⁵ 本来（・もともと）の動詞・形容詞の語幹の前に置く。例えば、「勉強する」は「勉強をする」の意味であり、「する」が本来の「動詞」であるために「する」の前に⁵を置かなければならない。権（2015）のテキストを参照されたい。
- ⁶ 韓国語の「可能」文法に「否定」文法を組み合す場合は可能文法⁶ / 을 수가 있다の있다を없다に替えることで「可能の否定」表現（⁶ / 을 수가 없다）になる
- ⁷ 韓国語の諺は「물에 빠지면 지푸라기라도 잡는다（=水に溺れたら藁でも掴む）」である。
- ⁸ 韓国語では「두 토끼를 잡으려다가 하나도 못 잡는다（=二兎を掴もうとして、一兎

も掴めない)」である。

< 参考文献 >

- 梅田博之 (1985) 「韓国人に対する日本語教育と日本人に対する韓国語教育」『日本語教育』第55号 日本語教育学会.
- 権 英秀 (2008) 「フェイス複合現象からみた「断り」表現—日・韓両大学生を対象に—」『日本学報』第77号 韓国日本学会 pp.1-13.
- 権 英秀 (2009a) 『日・韓両言語における「フェイス複合現象」—大学生の「断り」表現を中心に—』新潟大学大学院博士論文
- 権 英秀 (2009b) 「断り表現における直接的断りの位置づけ—日・韓両言語を対象に—」『ことばとくらし』第21号新潟県ことばの会 pp.1-10
- 権 英秀 (2017) 「日韓両言語の否定形について—日本人大学生の作文から—」『言語の普遍性と個性』第8号 新潟大学 pp.1-17
- 고영근·구본관 (2014) 『우리말 문법론』 집문당.
- 남기심·고영근 (2014) 『표준국어문법론』 박이정.

辞典

- 『現代言語学辞典』(1988) 田中春美他 (編) 成美堂.
- 『朝鮮語大辞典』(1985) 大阪外国語大学朝鮮語研究室 (編) 角川書店.
- 『日本語教育辞典』(1983) 日本語教育学会編 大修館書店.

テキスト

- 『改訂版韓国語レッスン初級 I』(2003) 金東漢・張銀英 (著) スリーエーネットワーク.
- 『韓国語講座 1』(2009) 金東順 (著) 白帝社.
- 『韓国語の文法バイブル』(2015) 権英秀 (著)
- 『韓国語の文法講義ノート上・下』(2015) 権英秀 (著)
- 『基礎から学ぶ韓国語講座初級』(2005) 木内 明 (著) 国書刊行会.
- 『新好きやねんハングル I』(2009) 高等学校韓国朝鮮語教育ネットワーク西ブロック編集チーム (著) 白帝社.
- 『総合韓国語 1』(2001) 油谷幸利・南相瓊 (著) 白帝社.
- 『朝鮮語を学ぼう』(2003) 朝鮮語学研究会 (著) 三修社.
- 『日本人のためのはじめての韓国語』(2008) 玄充鍋 (著) 白帝社.
- 『ミニマム韓国語』(2006) 高秀賢 (著) 国書刊行会.
- 『みんなの韓国語 1』(2009) 吉本一・中島仁・石賢敬・曹喜徹 (著) 白帝社.
- 『やさしく学べる韓国語初級』(2009) 金三順・北村唯司 (著) 白帝社.
- 『가나다 KOREAN 초급 1』(1997) 엄태상 (著) 랭기지플러스.
- 『아름다운 한국어 1-3』(2005) 안성희 (著) 한국어교육개발연구원
- 『한국어초급 I』(2000) 김중섭 (著) 경희대학교국제교육원한국어교육부.